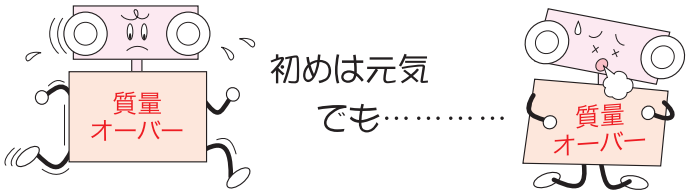
ドア錠 1
丁番 2
スライド丁番 3
開き戸金具 4
引戸錠 5
引戸金具 6
上吊式引戸金具 7
移動間仕切金具 8
折戸金具 9
室内用アルミ建具 10
取手・引手 11
スライドレールワイヤーバスケット 12
収納・吊金具 13
その他の家具金物 14
物干金具・諸金具 15
真鍮アンティーク 16
設計施工ガイド
会社案内

# 折戸金具に関するQ&A

## 対応範囲について

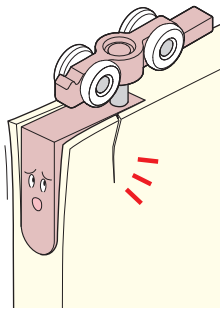
**Q1 「折戸1組の総質量」制限を超えた場合は、どうなりますか?**

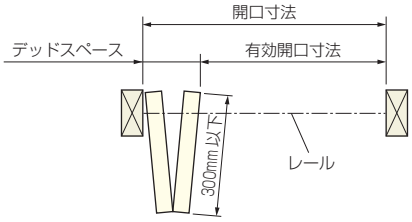
**A1** 使用条件にある折戸1組の総質量を2、3kgオーバーした程度では折戸の開閉操作で支障を感じる事はありません。
しかし、10kgオーバーともなると、戸の開閉操作が重くなるなどの違いを感じるようになってしまいます。
いずれの場合も、戸を吊り込んだ途端に金具が壊れてしまうという現象は発生しません。しかし、使用条件にある総質量からオーバーする質量が大きくなればなるほど、操作性が悪くなり、金具の劣化が早く進み、寿命が短くなるという現象がおこります。
各システムの使用条件は、金具を長く安心してご使用していただけるように設定されていますので、お守りください。




**Q2 「戸厚」制限以下の薄い折戸に使用すると、どうなりますか?**

**A2** 戸厚の制限は、取付ける金具自体の寸法･取付ねじの寸法などの条件から設定されています。
そのため、戸厚が使用条件よりも薄い折戸に金具を取付けようとした場合、金具の取付用掘込み加工後の板厚残り代が少なくなり、その部分が反ったり割れたりしてしまうことがあります。
また、丁番の取付ねじも短いものに変える必要があるかもしれません。
その場合、取付ねじが短くなった事で丁番を固定する力が弱くなってしまうことがありますので、カタログに記載されている使用条件の範囲内で、ご使用ください。



**Q3 折戸1組の最小幅が600mm以上と記載されている機種が多くありますが、600mm未満にすることは可能ですか?**

**A3** 可能です。
ただし、折戸の幅が狭すぎると、開口寸法のわりにデッドスペースが大きく、十分な有効開口寸法がとれなくなります。その他、戸を開閉する際に動きがきゅうくつになり、操作がしづらくなったり、戸を開けた際に丁番のキャッチ機能が働かない角度になることもあるので、その開口に折戸を選択するかの考慮が必要です。